

徳島県キャリア教育推進指針Ⅱについて

学校教育課

徳島県キャリア教育推進指針Ⅱ「とくしまの未来を切り拓くキャリア教育」 概要

趣旨

予測困難な社会を「生きぬく力」を備えた「人財」を育成するため、平成31年4月から5年間の方向性を示す、新たな徳島県キャリア教育推進指針を策定する。

構成

- 1 これまでの取組
【内容】現指針の概要とこれまでの取組を整理
- 2 成果と課題
【内容】現指針期間における成果と課題を整理
・「児童生徒の変容」に着目して、「自己肯定感の向上」等の7項目
・「学校間連携(縦の連携)と学校・地域間連携(横の連携)の状況」について4項目
- 3 推進方針と今後の主な取組
【内容】「成果と課題」を受け、3つの推進方針を定め、それぞれに「必要なアプローチ」及び「今後の取組」等を記載

推進方針と今後の主な取組

1 「ふるさと とくしま」を知る・考える機会の創出・拡充

- 必要なアプローチ ○とくしまの「よさ」「強み」を知り、学んだことを活用する仕組みづくり
○地域課題を学び、社会参画意識を高め、貢献する意欲の醸成
○事前・事後指導を充実し、体験を生かす運用の工夫
- 今後の取組例
・地域・経済団体等と連携した事業の実施及びその成果の活用
・学校段階に応じて地域課題解決に取り組む好事例の普及
・学んだことと社会との接続を意識した体験的活動の充実

2 挑み続ける「人財」の育成

- 必要なアプローチ ○人生100年時代を見据えた多様な職業観・勤労観の育成
○困難に柔軟に対応できる社会的・職業的自立のための基盤となる能力の育成
○相談機関や再挑戦・リカレント教育の機会の周知
- 今後の取組例
・解が1つに定まらない課題の解決にチャレンジする機会の充実
・異なる年齢や多様な他者と協働し、達成感向上につながる学習機会の充実
・全ての教育活動において、挑戦し続ける資質・能力を育成する場面の拡大

3 「自分」を認め・創る手立ての実践

- 必要なアプローチ ○生活等を振り返り、これからの生き方を見通す「キャリア・パスポート」の活用
○つながる「キャリア・パスポート」を踏まえたキャリア形成支援の充実
- 今後の取組例
・児童生徒が学びを振り返り、自らの将来と社会づくりにつなげる取組の推進
・学校種を越え、前後の接続を意識した「キャリア・パスポート」の活用研究